

フォトニュース

給食に郷土料理「ぼたん汁」



▲1月25日、町立幼稚園の園児や小・中学校の児童・生徒が、給食で「ぼたん汁」を味わいました。地域で獲れたしし肉の他に、町内産の大根を使った赤みそ仕立てのぼたん汁を食べた松尾台幼稚園の子ども達は、「とてもおいしくて、力が出そう」「お肉の味がよく出て、お汁がおいしい」と、ふるさとの味に大満足の様子でした。

▶1月28日、イナホールにおいて、町子ども会連絡協議会主催の第2回いなぼう杯チャレンジD-1グランプリ(猪名川町小学生ドッジボール大会)が開催され、町内の小学校から22チーム・254人が参加しました。チームは、小学校低学年男女混合の部、高学年女子の部・同男子の部の3つの部門に分かれトーナメント方式による熱い戦いが繰り広げられました。

第2回いなぼう杯チャレンジD-1グランプリを開催



保育園で「鬼は外!福は内!」



▲2月3日、猪名川保育園で節分の行事が行われました。いざ赤鬼さんとの対決では、鬼を怖がって逃げだしてしまっただけでは、鬼は外!福は内!と掛け声をかけて、一生懸命豆(新聞紙をまるめたもの)を投げつけて戦い、最後には鬼と仲良くなることができました。



猪名川幼稚園

▼うんどうかいでがんばってはしたかけこのえをかきました。
岸谷 剛希くん(年少)



▲おもほりにいっておおきなおもがほれたよ。たのしかったよ。
高石 英くん(年少)

◀「ポカポカホテル」のおはなしのなかのスリッパいっぱいいたよ。
中島 亜優美ちゃん(年長)

▼うんどうかいではおおきななはたをふってダンスをがんばりました。
光田 美月ちゃん(年長)



いながわ 歴史ウォーク 107

「金山モニュメント」と
「銀山モニュメント」

猪名川郵便局と大型商業施設の間を入ると白金2丁目・3丁目の境界に「四季彩の径」が続きます。この散策路の途中に、近郊で産出した珍しい黒御影石で作られた「金山モニュメント」があります。

これは、猪名川町と昭和63(1988)年に姉妹都市提携をしたバララット市(オーストラリア・ビクトリア州)が金山で栄えたことから、「金」のシンボルサインである太陽をモチーフとして作ったものです。四季彩の径の最奥部には「銀山モニュメント」が建てられています。多田銀銅山の中心地であった猪名川町をあらわすもので、「銀」の象徴



▲銀山モニュメント(四季彩の径)

として月をモチーフとしています。ふたつのモニュメントは、姉妹都市それぞれの歴史と友好をあらわすものとして、平成3(1991)年に向い合う軸線上に設置されました。散策路には四季折々の木々や花が植えられベンチや東屋もあります。19世紀に最盛期を迎えたバララット市の金山や、千年の歴史を誇る多田銀銅山を思いながら、ゆっくりと散策されてみてはいかがでしょうか。

広根遺跡で発掘体験!

▲1月31日、広根遺跡(広根地内)で、つづじが丘小学校6年生の児童90人が、見学と発掘を体験しました。集落跡や住居跡などの説明を受けた後、発掘体験では、スコップなどを持ち、「固くて掘りにくい」「もう少し掘ったら出てくるのかな」「これ土器の破片かな」などと感想を語っていました。



バララット市のシェインさんが町内で研修

▲2月1日、姉妹都市のオーストラリア・バララット市役所から来町しているシェイン・シェフリーさんが、民間研修として猪名川盆栽同好会と大嶋愛樹園において日本の盆栽の鑑賞の仕方や飾り方について研修を受け知識を深め、実技で苔玉作りや寄せ植えを体験しました。

